

令和7年度 第2回

宇都宮市文化財保護審議委員会

日時：令和8年1月20日（火）午後3時00分～午後4時30分

場所：宇都宮市役所 本庁舎 14階 14A会議室



宇都宮市文化財保護審議委員会

会 議 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 報 告

(1) 令和7年度の主な文化財関係事業の報告について

資料1

(2) 「第3次宇都宮市文化振興基本計画」について

4 その他

5 閉 会

宇都宮市文化財保護審議委員会委員名簿

部 会 名	氏 名	役職名等	備考
第1部会 絵 画 彫 刻 工 芸 品 書 跡	おおさわ けいこ 大澤 慶子	文星芸術大学 教 授	
	ほんだ さとし 本田 諭	根津美術館 次長兼第二課長	
第2部会 考古資料 史 跡	さいとう つねお 齋藤 恒夫	栃木県考古学会 会 員	
	やなぎ まこと 梁木 誠	栃木県考古学会 顧 問	
第3部会 歴史資料	たかやま けいこ 高山 慶子	宇都宮大学 准教授	
	こやなぎ まゆみ 小柳 真弓	栃木県立博物館 特別研究員	
第4部会 天然記念物	はやし てるたけ 林 光武	栃木県生物多様性 アドバイザー	
	あいざわ みねあき 逢沢 峰昭	宇都宮大学 教授	
第5部会 無形文化財 民俗文化財 建 造 物	おがわ きよし 小川 聖	宇都宮伝統文化連絡協議会 会 長	
	おおたけ あきのり 大嶽 陽徳	宇都宮大学 助 教	

令和7年度の主な文化財関係事業の報告について

1 デジタルミュージアムの構築

- ・ 3月（予定）「うつのみや歴史・文化デジタルミュージアム」（仮称）公開

2 文化財調査員

- ・ 5月14日 第1回宇都宮市文化財調査員会議
 - ・ 令和6年度宇都宮市指定文化財の指定・市民遺産の認定について
 - ・ 令和6年度文化財現況調査の報告について（10月～3月）
 - ・ 令和6年度課題別一斉調査「宇都宮の屋台・山車・天棚」の報告について
- ・ 11月11日 第2回宇都宮市文化財調査員会議・視察研修（岡本城跡）
 - ・ 令和7年度宇都宮市指定文化財の指定について
 - ・ 令和7年度文化財現況調査の中間報告（4月～9月）について

3 文化財保護審議委員会

- ・ 8月8日 第1回文化財保護審議委員会
- ・ 9月11日 第4専門調査部会
 - ・ 竹下町のオオバボダイジュ（樹勢回復事業後の経過観察）
 - ・ 白沢から上河内にかけての鬼怒川沿い
（シルビアシジミの指定について相談あり状況確認）
 - ・ 下篠井のイヌシデ（折損した状況の確認）
 - ・ エドヒガン（所有者から相談あり状況確認）
 - ・ 城山のシダレザクラ（腐朽した枝の剪定方法を検討）
 - ・ 中鶴田の大フジ（巻き付いているエノキの折枝状況の確認）
 - ・ 戸祭山緑地のトウキョウサンショウウオ（東池水路修繕の確認）

旭町の大いちょう（折枝後の剪定状況の確認）

- ・ 1月20日 第2回文化財保護審議委員会

4 文化財の調査

埋蔵文化財の発掘調査

- ・ 埋蔵文化財包蔵地の照会数 4, 486件（12月末現在）
※前年度12月末 4, 468件
- ・ 工事立会調査，確認調査件数 67件（12月末現在）
※前年度12月末 55件

5 文化財の維持・管理

(1)文化財防火デーに伴う文化財火災消防訓練及び文化財予防査察

- ・文化財火災消防訓練

【日時】 1月27日（火） 13：30～（予定）

【会場】 西方寺

- ・文化財予防査察

【日時】 2月上旬～（予定）

- ・桂林寺ほか5寺社 16件

（桂林寺，清巖寺，浄鏡寺，正行寺，宝蔵寺，興禅寺）

(2)宇都宮市民遺産制度(みや遺産)の運用

- ・ 11月21日 第1回市民遺産会議 2件申請
 - ・ 徳次郎 智賀都神社の夫婦けやき
 - ・ 戊辰戦争関連遺跡群（幕田・安塚の戦い）
- ・ 2月（予定） 第2回市民遺産会議
- ・ 宇都宮市 審議
- ・ 3月（予定） 市民遺産認定式

6 文化財の活用・啓発

(1)文化財活用事業

- ・ 11月23日 うるま市全島獅子舞フェスティバル参加
（宇都宮伝統文化連絡協議会所属 上横倉の獅子舞保存会）
- ・ 12月13日 宇都宮伝統文化フェスティバル 約1,000名参加

(2)うつのみや遺跡の広場

- ・ 5月11日 キスゲまつり 360名参加
- ・ 6月1日～7月31日 キスゲと遺跡の広場写真展 12作品出品
- ・ 7月26日 夏休み体験教室「土器づくり：成形」 25名参加
- ・ 9月27日 夏休み体験教室「土器づくり：焼成」 25名参加
- ・ 11月1日～1月9日
巡回展「うつのみや新発見伝2025」 1,900名見学
- ・ 2月22日（予定） 親子体験教室「野鳥の巣箱づくり」
入館者数：8,888名（12月末現在） ※前年度12月末11,242名

(3)旧篠原家住宅

- ・ 4月8日～5月6日 企画展「旧篠原家住宅所蔵五月人形展」629名見学
 - ・ 7月19日 切り絵体験教室 12名参加
 - ・ 7月20日～8月24日 小中学生古民家探検教室 52名参加
- 入館者数：2,866名（12月末現在） ※前年度12月末4,868名
※耐震工事のため休館中（令和7年9月1日～令和8年11月30日）

(4) 飛山城史跡公園・とびやま歴史体験館

- ・ 4月26日 親子で弓矢体験 31名参加
- ・ 5月23日～7月24日
巡回展「うつのみや新発見伝2025」 2,628名見学
- ・ 7月24日～25日, 8月5日～6日
夏休みとびやま体験教室 118名参加
- ・ 8月16日～9月28日
企画展「よろいかぶとその変遷」 2,027名見学
- ・ 10月4日 古城の音楽会 32名参加
- ・ 11月1日～11月14日 中世の衣装で七五三 54名参加
- ・ 2月20日～3月24日(予定) 企画展「宇都宮の窯跡」
- ・ 3月14日(予定) 第20回きよはら飛山まつり
- ・ 5月2日～6日, 7月19日～21日, 9月13日～15日, 10月11日
～13日 ライトライン「飛山城跡」停留場からの無料送迎サービス
823名乗車

入館者数：21,949名(12月末現在) ※前年度12月末32,045名

※空調改修工事のため休館中(令和7年11月18日～令和8年2月18日)

(5) 宇都宮城址公園ガイド施設

- ・ 7月7日～8月31日 企画展「うつのみやの戦災展」
4,547名見学 ※前年度3,623名見学
 - ・ 10月6日～12月26日 企画展「終戦80年 軍都宇都宮の終焉」
10,734名見学
 - ・ 1月19日～3月22日 巡回展「うつのみや新発見伝2025」
 - ・ 宇都宮市文化財ボランティア協議会による歴史・文化財等の案内解説(通年)
- 入館者数：清明館歴史展示室 26,812名(12月末現在)
※前年度12月末 22,035名
宇都宮城ものしり館 32,736名(12月末現在)
※前年度12月末 33,358名

(6)上河内民俗資料館

- ・ 5月17日～7月6日 企画展「地域の宝 宇都宮市民遺産(みや遺産)」
312名見学
 - ・ 7月26日 親子向け体験講座「小麦まんじゅう作り」 22名参加
 - ・ 8月23日 親子向け体験講座「ランプシェード作り」 23名参加
 - ・ 10月4日～11月30日
企画展「写真や地図で振り返る うつのみやの昭和100年」 768名見学
 - ・ 11月8日 民俗資料館講座「ゆず料理」 22名参加
 - ・ 12月20日 親子向け体験講座「ミニミニ門松作り」 17名参加
 - ・ 2月3日～3月8日(予定) 企画展「ひな人形展」
 - ・ 2月21日(予定) 親子向け体験講座「ネイチャークラフト」
- 入館者数：2,299名(12月末現在) ※前年度12月末2,299名

(7)文化財めぐり

- ・ 5月10日 -大谷地域の文化的景観- (大谷寺, 稲荷山, カネホン採石場等)
22名参加
- ・ 7月12日 戦後80年 軍都の名残を訪ねる (旭町の大いちょう, 特殊地下壕等)
23名参加
- ・ 8月2日 親子で参加!文化財めぐり (うつのみや遺跡の広場, 旧篠原家住宅)
15名参加
- ・ 10月5日 戊辰戦争ゆかりの地を歩く (栄巖寺跡, 一向寺等) 25名参加
- ・ 11月15日 -宇都宮の山車・屋台・天棚- (海道町の天棚, 白沢南彫刻屋台等)
22名参加

(8)宇都宮の歴史と文化財ボランティアガイド養成講座(全10回)

- ・ 6月25日～1月28日 8名受講

(9)市民ホール(市役所1階)展示

- ・ 4月8日～4月12日 根古谷台遺跡パネル展

(10)日本遺産を通じた大谷石文化の魅力発信事業

- ・ 9月27日～28日 ツーリズムEXPOジャパン (愛知県国際展示場)
- ・ 10月25日～26日 日本遺産フェスティバル (倉敷アイビースクエア)

(11)宇都宮伝統文化継承事業

・宮っ子伝統文化体験教室

	学校名	学年	内容	実施(予定)日
1	石井小	6年生	ふくべ細工絵付け	6/13
2	豊郷北小	6年生	黄ぶな絵付け	6/20
3	上戸祭小	6年生	かんぴょう料理	6/27
4	清原南小	6年生	黄ぶな絵付け	7/1
5	泉が丘小	6年生	獅子舞	7/3
6	城東小	6年生	黄ぶな絵付け	7/3
7	御幸小	6年生	ふくべ細工絵付け	7/4
8	宝木小	3年生	ふくべ細工絵付け	7/8
9	平石中央小	4～6年生	ミニぞうり	7/11
10	東小	6年生	ふくべ細工絵付け	9/3
11	平石北小	6年生	ふくべ細工絵付け	9/5
12	田原西小	6年生	獅子舞	9/18
13	上河内西小	6年生	小麦まんじゅう	9/10
14	白沢小	6年生	ミニぞうり	9/12
15	昭和小	6年生	黄ぶな絵付け	9/24
16	宮の原小	6年生	小麦まんじゅう	9/30
17	岡本小	6年生	ねぎみそまんじゅう	10/17
18	西が岡小	6年生	黄ぶな絵付け	11/7
19	岡本北小	5年生	かんぴょう料理	11/12
20	豊郷南小	6年生	ミニぞうり	11/14
21	西小	4年生	ふくべ細工絵付け	11/18
22	御幸が原小	6年生	ふくべ細工絵付け	11/20
23	上河内中央小	3・6年生	獅子舞	11/27
24	陽東小	6年生	ふくべ細工絵付け	12/3
25	清原東小	6年生	黄ぶな絵付け	12/6
26	中央小	4年生	ふくべ細工絵付け	12/22
27	篠井小	5年生	ゆず料理	12/23
28	横川東小	3年生	ミニぞうり	1/13
29	横川中央小	6年生	かんぴょう料理	1/21(予定)
30	城山西小	5年生	しもつかれ	1/23(予定)

(12)重要文化的景観

令和6年10月に国の重要文化的景観に選定された「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」が、市民や来訪者の皆様に広く認知され、末永く親しまれる景観となるよう、エンブレムデザインの候補を3案作成し、児童・生徒の皆様をはじめとする多くの方々から投票をいただいた結果、下記のエンブレムに決定した。



「奇岩群 越路岩」と奇岩群を形成する要素となった「姿川」、大谷石を掘り出してできた巨大な地下空間と採石する人の様子をデザインした。

- ・ 投票数:9,814票
- ・ 得票数:4,453票(45.4%)

エンブレムについては、大谷の重要文化的景観の普及啓発、広報、理解促進を目的としたイベントや広報物などに無償で使用可能である。

また、エンブレムを活用した缶バッジを大谷石文化学講座参加者へ配布、日本遺産案内板や重要文化的景観パンフレット等へのエンブレム掲載など、エンブレムを活用した取組を進めていく。

(13)その他の周知・啓発事業

・ 伝統料理講座

第1回	8月 2日	講話「お盆の料理」	姿川地区市民センター
第2回	10月 11日	講話「お月見の料理」	平石地区市民センター
第3回	12月 7日	講話「お正月料理」	平石地区市民センター
第4回	1月 25日	講話「しもつかれ」	河内地区市民センター

・ 伝統文化講座

第1回	9月 13日	講話「日光東照宮と屋台彫刻」	河内地区市民センター
第2回	11月 8日	講話「野州てんまり」	総合コミュニティセンター
第3回	11月 29日	講話「オタリヤ」	城山地区市民センター
第4回	2月 7日	講話「布ぞうり」	雀宮地区市民センター

7 計画策定

(1)「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」整備活用計画

当該重要文化的景観の適切な保存及び活用のために、「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観保存活用計画」に基づき、計画的に整備・活用に係る事業を実施するための計画を2か年（令和7－8年度）で策定予定。

(2)根古谷台遺跡保存活用計画

国指定史跡根古谷台遺跡の本質的価値をあらためて認識し、現状と課題を整理したうえで、より効果的な保存・活用・整備・運営の方向性や取組を定めるための計画を策定予定。

第3次宇都宮市文化振興基本計画(素案) 概要版

第1章 計画の概要

【1 策定に当たって】

本計画は、前計画の評価と文化を取り巻く環境と市民ニーズの変化を踏まえ、市民が宇都宮ならではの貴重な文化に気付き、誇りと愛着を感じ、豊かに暮らすことができる社会の実現を目的に策定するもの

【2 計画の位置付け】

本計画は文化都市推進課を始め庁内各課で実施している個別事業を文化振興の観点から関連付けし、総合的かつ効果的に施策の方向性を示すもの。また、文化芸術基本法や関連計画を踏まえるとともに、第6次宇都宮市総合計画基本計画(後期計画)に掲げる基本施策「魅力創造・交流の未来都市の実現に向けて」を実現する計画。

【3 計画期間】

令和8年度から令和17年度までの10年計画とする。

第2章 文化を取り巻く環境の動向

1 社会情勢

- ・デジタル化の加速
- ・ライフスタイルの変化
- ・少子高齢化・グローバル化の進展
- ・メディア芸術の関心の高まり
- ・異常気象の増加に伴う文化財の保存管理、国・県等の動向

- 社会動向やライフスタイルの変化および環境の変化に対応した施策を検討
- 漫画・アニメなどメディア芸術文化の振興

2 国・県の動向

- ・「文化芸術基本法」改正及び施行(H29)⇒観光等分野との連携強化、国際的な交流等推進
- ・骨太方針2025(経済財政運営と改革の基本方針2025)⇒文化観光施策を通じた地域経済活性化の推進など
- ・学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(R4)
- ・栃木県文化振興基本計画(第2期)

- 観光など他分野との施策間の連携強化
- 歴史・文化・芸術資源を活用した経済の好循環、地域活性化
- 部活動の地域展開を踏まえた文化芸術の振興

第3章 本市の文化の現状と課題

1 市民アンケート結果

- ・鑑賞・見学を行った分野について、メディア芸術が多い 50.2%
- ・文化芸術活動の参加形態について、ひとりで行った割合が多い 45.4%
- ・文化芸術活動の場所について、「自宅」と回答した割合が多い41.5%
- ・情報発信の充実を求める声が多い 34.3%
- ・担い手づくりの取組強化が課題と回答した割合が高い 87.8%

➢ メディア芸術の振興

- ライフスタイルの変化による文化活動形態の変化への対応
- 情報発信の強化
- 文化の次世代継承の課題認識の高まりへの対応

2 有識者(学校関係者)ヒアリング結果

- ・学生を対象とした市民が作った芸術作品等の展示・披露機会の充実
- ・学生団体が参加可能なイベント情報を分かりやすくまとめ、発信する仕組みづくり
- ・大谷地区の貴重な景観や観光資源を活かした施策展開

➢ 宇都宮文化を活用したまちづくりへの施策展開への対応

- ターゲット層(若年層)を意識した情報発信の強化
- ニーズに沿った多様な発表機会の提供

3 現行計画の評価

⇒目標値には至らなかったものの、各取組において一定の成果

基本方針	評価と目標達成・未達成の理由
文化を身近に感じ、活動できる環境づくりの推進	文化・芸術を鑑賞・見学した市民の割合82.0%(H26比+2.7%)目標値90% ➢映画や漫画、アニメなどのメディア芸術に触れる機会は多いと思われるが、メディア芸術祭の来場者も増加しているが、指標はそれほど伸びておらず、メディア芸術の周知啓発不足が要因と考える
文化をつなぐ人材育成の推進	文化活動をしている市民の割合37.9%(H26年度比▲1.8%)目標値50% ➢文化活動・発表の場の提供、児童・生徒への芸術・伝統文化関連講座、文化芸術団体への支援などを通して人材育成に取り組んできたが、コロナ禍による活動形態の変容に対する施策が十分に展開できなかったことが主な要因と考える
宇都宮文化の創造・継承の推進	宇都宮の文化を誇りに感じる人の割合44.8%(H26年度比+11.5%)目標値60% ➢本市の魅力的な歴史・文化・資源を磨き上げ、市内外に広くPRするため、日本遺産の認定や重要文化的景観選定、みや遺産の創設などに取り組んできたが、それらの資源の認知度向上のための取組が不足していたことが主な要因と考える
文化を活用したまちづくりの推進	文化資源を目的に宇都宮に来訪した人の割合37.1%(H26年度比+25.2%) 目標値20% 達成 ➢街なかでの音楽イベントや日本遺産認定を契機とした大谷地区を中心とした観光客の増により目標値を大きく上回った

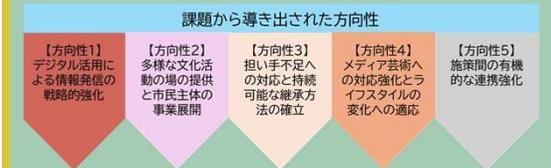
4 今後重点的に取り組むべき課題

取組の効果を高め、時代に即した施策を展開するための課題の導出

- 課題1: 広報誌などの従来の媒体での発信とともに、デジタルを活用した発信・アクセス性を強化するなど、戦略的な広報展開が必要
- 課題2: 市民のニーズやライフスタイルの変化、時代の潮流に沿った多様な文化活動の場の提供に取り組むとともに、引き続き事業の企画段階から市民の積極的な参画を促し、市民主体の事業展開が必要
- 課題3: 児童・生徒の文化に触れる機会の充実を図るとともに、地域における伝統文化の継承と、文化・芸術の担い手・指導者育成に繋がるよう、よりその事業効果を高めていく必要があるとともに、持続可能な手法の確立が必要
- 課題4: メディア芸術への関心が高いことや文化に触れる形態の個別化や多様化等、ライフスタイルの変化に適応した取組の推進が必要
- 課題5: 施策間の連携や関係各課との連携を強化し、全体としての相乗効果を生み出せるような取組が必要

第4章 文化振興の基本理念と基本方針

次期計画の基本的な考え方



- ・取組成果を踏まえた継続性を保持しつつ、時代に即した取組展開が必要
- ・基本方針は時代潮流に寄り、互いに作用し、文化振興を図る上で普遍的で重要な要素であることから、4つの方針を継承しつつ、より効果的な施策を展開

基本方針



文化創造のサイクル図

第4章 文化振興の基本理念と基本方針

基本理念

文化をつなぎ 未来を紡ぐ 宇都宮

～心が響きあい 更なる魅力を創造するまちへ～

第5章 文化施策の展開方向

基本方針1
文化を身近に感じ、活動できる環境づくりの推進
成果指標
文化・芸術の鑑賞・見学をした市民の割合 90%

市民が日頃のくらしに文化活動を取り入れ、より豊かな生活を送るために、デジタル技術も活用しながら文化芸術に触れる環境や発表・活動の環境、そして文化を学べる環境を充実させていくとともに、ターゲット層を意識した戦略的な情報発信を行うなど、市民が様々な文化情報を得やすい環境を整備することにより、メディア芸術を含む新しい鑑賞・活動形態の変化やライフスタイルの変化にも対応し、市民が文化をより身近に感じ、気軽に触れ、発表するなど活動できる環境づくりを推進します。

基本方針2
文化をつなぐ人材育成の推進
成果指標
文化活動をしている市民の割合 50%

文化を創造・継承する人材を、持続的に育成していくために、地域や学校などにおいて文化を先導する人材の育成や担い手育成のほか、地域文化を守り・伝える人材や団体の育成支援を進めることにより、文化をつなぐ人材等の育成を推進します。

基本方針3
宇都宮文化の創造・継承の推進
成果指標
宇都宮の文化資源を誇りに感じる人の割合 60%

市民が楽しみながら多彩な宇都宮文化を知り、故郷に誇りと愛着を感じるために、デジタル技術等を活用したり、芸術文化と歴史文化を融合させたりするなど、宇都宮文化の価値を高め、新たな発見や魅力の創出を推進するとともに、これまで積み重ねられた宇都宮文化について、次世代の文化創造に資するよう、保存・継承を推進します。

基本方針4
文化を活用したまちづくりの推進
成果指標
文化資源を目的に宇都宮に来訪した人の割合 50%

文化のみならず経済的・社会的効果がまちづくりの力となるよう文化・芸術・歴史資源を活用した文化観光を推進するほか、国際交流や福祉など多様な分野との連携を強化した施策を展開することにより、地域の魅力づくり、絆づくり、多文化共生などを促進し、多くの人が訪れ交流する魅力あふれる宇都宮のまちづくりを推進します。

施策 NO.	施策の方向性	新重点 デジタル 規点	施策 NO.	施策の方向性	新重点 デジタル 規点	施策 NO.	施策の方向性	新重点 デジタル 規点	施策 NO.	施策の方向性	新重点 デジタル 規点
基本施策①	文化を身近に感じ、気軽に活動できる環境づくりの推進		基本施策①	文化を先導する人材の育成促進及び活躍の場の創出		基本施策①	宇都宮文化の創出の推進		基本施策①	地域の魅力づくりへの活用	
文化にふれる場の充実	A1-1 文化会館・美術館での鑑賞機会の充実	★◆	B1-1 若手芸術家の育成の促進			歴史・文化の創出の推進	C1-1 新たな歴史・文化の再評価・再発見	★	地域間連携の強化	D1-1 文化資源を取り入れた地域イベントへの支援	★
	A1-2 ジャズのまち事業の推進		B1-2 身近に学べるマッチング事業の支援	★◆			C1-2 史跡等整備の推進	★◆		D1-2 文化・芸術・歴史資源を活用した文化観光の推進	○★◆
	A1-3 文化財ガイド施設を活用した周知啓発事業の促進	◆	B1-3 文化活動者の活用促進				C1-3 日本遺産「大谷石文化」の推進	★◆		D1-3 文化資源を活用した集客交流の促進	★
	A1-4 図書館における文化情報の周知啓発の促進	◆	B1-4 芸術家の発表・交流活動の支援				C1-4 宇都宮市民遺産認定制度の推進	★		D1-4 多様な分野との連携強化	○★◆
	A1-5 歴史・文化の周知啓発事業の推進	★◆	基本施策②	いきいきと文化活動に取り組む人材育成の推進			C1-5 調査・研究機能の強化			D1-5 産学官連携による文化振興事業の推進	○★◆
	A1-6 歴史・文化デジタルミュージアム事業の推進	○★◆	B2-1 芸術・伝統文化関連講座の推進				C1-6 芸術文化と歴史文化の融合	○★◆		D2-1 景観上価値のある歴史建造物の保全・活用の促進	再掲
発表・活動環境の充実	A2-1 市民芸術祭・ジュニア芸術祭の推進	★◆	B2-2 保育所等における文化の学習機会の充実				C1-7 歴史・文化デジタルミュージアム事業の推進			D2-2 ジャズのまち活性化事業の推進	
	A2-2 百人一首事業の推進	★◆	B2-3 デジタルコンテンツを活用した学習機会の充実	○★◆		C1-8 メディア芸術の振興促進	再掲 再掲	D2-3 妖精資料活用事業の推進	◆		
	A2-3 身近な場を活用した新たな文化活動の発表の場の創出	★◆	B3-1 宇都宮伝統文化(ふるさと)継承事業の推進	★		C2-1 本市にゆかりの芸術家を活用した普及啓発の推進		D2-4 城址公園を活用した文化・歴史を伝える事業の推進	◆		
	A2-4 民間施設との連携・活用の検討		B3-2 企業や文化振興財団等による助成事業の活用			C2-2 うつのみや市民賞の推進		D2-5 百人一首事業の推進	再掲 再掲		
	A2-5 青少年の発表機会の創出	◆	B3-3 中学校部活動及び地域クラブ活動における地域人材の育成・活用	○★		C3-1 まちなみ景観事業の推進	◆	D2-6 日本遺産「大谷石文化」の推進			
	A2-6 障がい者の発表機会の創出	◆	B3-4 市民学芸員の育成の推進	○★		C3-2 うつのみや百景事業の推進	◆	D2-7 友好都市との文化交流の推進	○★◆		
	A2-7 地域文化祭の推進		基本施策③	地域の文化を守り・伝える人材・団体の育成・支援の推進		C3-3 景観形成重点地区等の指定の推進		基本施策②	絆づくりへの活用		
A2-8 ライフスタイルに応じた活動環境の充実	○★◆	B4-1 文化ボランティア養成講座の開催			基本施策②	宇都宮文化の保存・継承の推進		D3-1 学校における地域文化財活用事業の推進			
A2-9 メディア芸術の振興促進	○★◆	B5-1 市民ボランティア団体の育成・支援	★		C4-1 多気城跡の保存に向けての調査の推進	◆	D3-2 芸術・伝統文化関連講座の実施	再掲			
学びの機会の充実	A3-1 文化創造財団による講座の推進	◆	B5-2 文化活動団体への支援(補助金等)及び連携強化			C4-2 史跡・名称・天然記念物等の保存	◆	D4-1 伝統工芸や地場産業との連携の推進			
	A3-2 生涯学習センターでの文化・教養関係講座の推進				C4-3 文化財の収蔵・蓄積の基盤整備	★◆	基本施策③	多文化共生や国際交流の推進			
	A3-3 宇都宮市民大学の推進				C4-4 文化財保護法に基づく歴史的建造物の保護の推進		D5-1 多文化共生フォーラムの開催				
	A3-4 高齢者の学びの機会の促進				C4-5 文化財の防災・防犯対策の推進	○	D5-2 姉妹都市との文化芸術交流の推進				
基本施策②	文化情報の収集・発信機能の充実				景観保全の促進	C5-1 景観上価値のある歴史的建造物の保全・活用の促進	◆	D5-3 国際理解講座の実施			
文化情報の収集・発信機能の戦略的強化	A4-1 歴史・文化等を活用したまちなか文化情報交流拠点づくり				多様な豊かな自然環境の保全	C5-2 大谷の文化的景観保存活用事業の推進	★◆	D5-4 文化資源を活用した文化交流の推進	★◆		
	A4-2 ホームページ、SNS等を活用した情報発信の推進	◆				C5-3 大谷・多気地区美観事業の推進					
	A4-3 ターゲット層を意識した戦略的情報発信の推進	○★◆				C6-1 文化財等を通じた自然環境理解の促進	◆				
						C6-2 自然環境の把握と周知啓発の推進					

第6章 計画の推進体制

●協働による文化芸術の振興

市民、団体(NPO等)、芸術家、教育機関、企業、(公財)うつのみや文化創造財団、市がそれぞれの役割の下、主体的に活動に取り組む。

●計画の進行管理

毎年実施している総合計画の施策評価を活用するとともに、文化会館・美術館利用者数などの関係指標を参考にし、必要に応じて事業の成果を検証・見直しを行い、効果的な事業を推進する。